「夢」「元気」「誇り」に本気の41歳

三好宏（みよしひろし）の思い、発表!!

みよひろは。やりまっせ!!!

明石の子どもたちに「夢」を！
文化・芸術・スポーツの推進と教育環境の整備

日本の識字率はほぼ100％と言われてて、これは教育環境がいかに整備されているかを表していると思う。どこにいても同じように教育を受けられる日本…ナント素晴らしい!! と言いたいところやけど、そうは簡単にいかんのやな。今の日本の教育は、笑顔０円をウリにするどっかのファーストフード店並みにマニュアル化されている。

おかげでどの学校行っても遜色ない知識を習得できる。けど、その代わりにそこそこはできるけど、そこそこしかできない平均点の子どもたちに育ってるんやないかと思うねん。教育は学問を教えることが第一やからそれでええねんって？ 僕はそうは思わへんな。やっぱりその子の長所を伸ばしてやったり才能を見つけて開花させてあげたりすることが大切やと。そういうことを今の学校はしてないから子どもらは自分の「夢」をもたれへんのと違うかなぁ。それやから「元気がない」って言われる子が増えてきたと思うねん。

そこで僕は、こう考える。子どもたちに「夢」をもってもらいたい。そして夢中になれる何かを探し出し、実現してほしいと。そのために僕たち大人がすべきことは文化・芸術・スポーツ、それぞれの分野で子どもたちが気軽に熱心に取り組める環境を整えることや。そうすれば明石の子どもたちは大きくのびのび個性豊かに育っていく。「夢」に瞳輝かせた子どもたちでいっぱいの明石を目指して、僕はやりまっせ～。

商売人の「元気」アップを！
活気ある明石のまちへの再生

僕は商店街で育ったんやけど、子どもの頃の商店街って今よりもっと小さくて人も少なかったはずやのに毎日賑やかで元気あふれるまちやった。あの元気は、どっから来てたんやろ？ 大人になった今、しみじみ考えて気がついた。あれは商売人から来てたんやと。つまり、商売人が元気にならん限りまちに活気なんか出てけぇへんねん。商売人が元気になって街が賑わえば住んでる人もみんな元気になるんやで。

商売人が担っている社会的役割って、考えてみればホンマ大きいねん。店を開けているだけで地域の防犯にひと役買えるし、店先でお客さんと世間話するだけで自然とまちの人同士の繋ぎ役にもなれる。そんなこんなを通して子どもたちの育成だってできるんや。だから僕はこう考える。横の繋がりをもってて、住みよいまちづくりにダイレクトに貢献できる商売人の「元気」アップに取り組んでいきたいと。

「まちに賑わい、ひとに元気」をモットーに、僕はやりまっせ～。

「誇り」のもてるまちを！
安全で安心、終の住みかとなるまちを目指して

２００５年８月の日本経済新聞に「定年後、住みたい町ランキング」という記事が掲載された。調査対象は首都圏と近畿圏の住民やったけど、そこで明石市は９位にランキングしとってん。「生涯を過ごしたい町」として評価されたなんて、うれしいことや。僕の生まれ育ったまち・明石の魅力って何やろと思う？ 城下町で栄えた歴史ある土地、明石海峡が見渡せる風光明媚な景観、海からは魚、陸からは野菜に果物、米に牛乳…これほどの自然の恵みがある一方で若者が集まるおしゃれなファッションビルや娯楽施設もある。この新旧の融合が魅力やろし、評価されたんやと思うんやなぁ。

そこで僕は考える。この素晴らしいまち・明石をもっと多くの人が住みたいと思えるまちにしたいと。そして、明石に住むことが誇りとなり、終の住みかとしてこれからもずっと住みたいと思えるまちにしたいと。そのために僕は全国の人に自慢できる「安全で安心なまち・明石」を創っていきまっせ～。

三好（みよし）宏（ひろし）さんとの「出会い」そして「夢」！

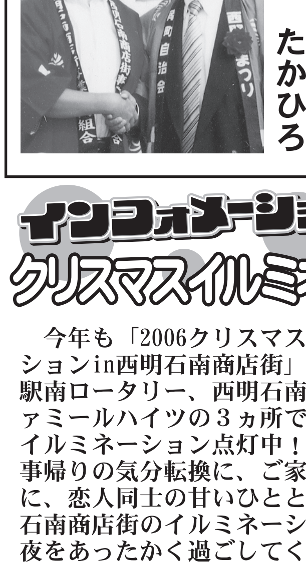
人生の中で、一生付き合える男「三好 宏」

14年前、少し突っ張った生意気そうな青年が前に座りました。話をしているうちに見た目より（笑）真面目で真剣に人の話に耳を傾ける彼に私は好印象を持ちました。

これが三好宏さんとの出会いであります。その場で明石青年会議所に勧誘し、すぐに入会してくれた彼とは、自己研鑽のもと、まちづくりやひとづくり活動に共に取り組んできました。彼の口癖は、「自ら汗をかかんと誰が動いてくれるんや」「口先やなく、すぐに行動や」「自分が動くから感動があるんや」でありました。その行動の端々に自分が生まれ育ったこの西明石が大好きやからとの強い思いが表れていました。

そして今、「夢をかたちに かたちを現実に！」するために新たな挑戦を決断した三好宏さんに心からエールを送りたいと思います。

共に力を合わせ、一度しかない人生だからこそ、高い志を持って、愛するふるさとのために全力でがんばろう！



兵庫県議会議員　松本　たかひろ

少年野球チーム 西明石モンキーズ 始動！

初心者大歓迎!! **部員募集中!!**

- ●対　象/小学校１年生～５年生（性別問わず）
- ●練習日/土・日・祝日
- ●部　費/月2,000円（年間保険別途）

連絡先　明石市魚住町長坂寺639-1
TEL（078）947-9388
携帯090（4647）5881【チーム監督】吉田 勉まで

９月３日発行の第一回みよひろ新聞で部員募集をした少年野球チーム「西明石モンキーズ」がいよいよ始動した。チーム名は阪神タイガース・藤本敦士選手のニックネームから、また同選手の父が顧問、同選手の先輩である三好宏がチーム代表を務めるモンキーズには現在女子３名を含む16名（2006年11月現在）が在籍。そのほとんどが初心者で、半数はホームベースに球が届かないという現状だが、土・日・祝日、主に駅南広場で行われる練習では、皆一生懸命に、また楽しく野球に取り組んでいる。部員は随時募集中。興味のある人はぜひ一度広場へ見に来て欲しい。

※西明石モンキーズでは、技術力アップのみならず人間的な成長も目指しているため礼儀作法、言葉遣いなどもしっかり学べます。

インフォメーション 西明石駅南 クリスマスイルミネーション開催中

今年も「2006クリスマスイルミネーションin西明石南商店街」と銘打って駅南ロータリー、西明石南商店街、ファミールハイツの３ヵ所でクリスマスイルミネーション点灯中！　学校や仕事帰りの気分転換に、ご家族の団らんに、恋人同士の甘いひとときに…西明石南商店街のイルミネーションで寒い夜をあったかく過ごしてくださいネ。

新生!! ナクスンジャー！

第26回西明石まつりでデビュー

三好宏のアイデアで生まれた迷惑駐輪ナクスンジャー。誕生から2年経ち、すっかりまちの有名人になった。認知度に比例してパワーもアップ。JR西明石駅南の迷惑駐輪数は激減した。

そこで彼らの働きぶりにご褒美…というわけではないが、この度ナクスンジャーのコスチュームを新調した。今までのマスクは何の変哲もない布製のものだったが、これをマーク入りの特注ヘルメット（なんと本物顔負けのＦＲＰ樹脂製）に変えたのだ！

お披露目は10月21日・22日に開催された西明石まつりで行われた。活動してくれる人が少しでも快適で楽しく…そう考え、三好はコンサルタントと共にメーカーと何度も話し合い、ようやく完成したオリジナル・ヘルメット。さて、みんなの反応はいかに!?　舞台袖から不安と期待を胸に会場を見る。と、舞台に颯爽と現れた新生ナクスンジャーの姿に会場は「めっちゃかっこエエ～!!」の大歓声！さらなる人気と注目を集めることとなった。

「よっしゃ、やった！」と思わずガッツポーズの三好、これからもナクスンジャーと共に今以上に住みやすいまちづくりに努めようと心に誓ったのだった。

◀明石の二大ヒーロー・迷惑駐輪ナクスンジャーと軌道星隊シゴセンジャーに囲まれたニュー・ヒーロー⁉三好宏。今後の活躍に乞うご期待！